



中四国郷土芸能 フェスタ2025 in かがわ

第33回中四国文化の集い

令和7年度 香川県県民ホール地域文化活性化事業



令和7年 **11月23日(日)** 午後1時開演 (午後0時30分開場)
レクザムホール(香川県県民ホール)・小ホール

司会 植松おさみ

入場無料

入場整理券はありませんので、直接会場にお越しください

- ❶ 香川県 ▶▶▶ 山本長刀踊り(山本長刀踊保存会)
- ❷ 山口県 ▶▶▶ 大波野神舞(大波野神舞保存会)
- ❸ 広島県 ▶▶▶ 吟詠剣詩舞(旭崩流静鴻会)
- ❹ 鳥取県 ▶▶▶ 高城牛追掛節(高城牛追掛節保存会)
- ❺ 島根県 ▶▶▶ 出雲神楽(深野神楽保存会)
- ❻ 愛媛県 ▶▶▶ 浪曲(虎造節保存会)
- ❼ 高知県 ▶▶▶ 四ツ白武士踊り(太刀踊り)(四ツ白武士踊り(太刀踊り)会)
- ❽ 香川県 ▶▶▶ 安田おどり(安田おどり保存会)
- ❾ 徳島県 ▶▶▶ 獅子舞(高原藍玉獅子保存会)
- ❿ 岡山県 ▶▶▶ 備中神楽(備中神楽倉敷社)



※ホール専用駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

第33回中四国文化の集い 中四国郷土芸能フェスタ2025 in かがわ

出演団体紹介

香川県

山本長刀踊保存会

【演目】

山本長刀踊り



明治初期、坂出市の総社神社から山本町の菅生神社に伝えられたもので、渡御行列の最先端で露払いをする武芸踊りです。昭和45年教育委員会指導のもと山本町若人の会によって創った山本長刀踊りです。払い、突き、打ち込み、後ろ突き、水車、風車を組み合わせたもので、白装束にたすきがけをし鉢巻を締め草鞋を履き腰に予備の草鞋をはせ、長さ2m・重さ2kgの長刀を持ち2人1組で行う攻撃防御。勇壮で素朴な武芸踊りです。神田川原山本自治会の若獅子会員達によって毎年行われ、香川の長刀踊りとして頑張っています。

山口県

大波野神舞保存会

【演目】

- ①湯立
- ②七五三



大波野神舞は、江戸中期頃より舞われ始めたとされています。昭和55年、大波野神舞保存会を設立。大波野地区290戸の会員で運営しています。昭和58年、田布施町の無形民俗文化財に、平成12年に山口県の無形民俗文化財に指定され、現在に至ります。16の演目が伝承されていて、今回は、①湯立 舞場を載い清める舞として最初に奉納されます。(山本瑞穂、山本穂波、藤田和葉、井神伶奈)②七五三 注連口の舞ともよばれます。神々のご出現を喜ぶ舞です。(藤田明衣、井神杏莉)以上の二舞をご披露します。

広島県

旭崩流静鴻会

【演目】

- ① 瀬の浦の景観
- ② みだれ咲き
- ③ 白雲の城



私達は、広島県福山市を拠点とし活動を行う吟詠剣詩舞の会です。昨年より、流派の発展を目的として吟詠剣詩舞を土台に演歌やアニメソングなどにも挑戦しています。幼児から高齢者まで所属しており、これからの日本の伝統を更に良くしていく流派を目指しています。当日は、お客様の記憶に残る舞台になる様、精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。＜演目について＞①瀬の浦の景観 福山の観光名所である瀬の浦を表現。(けんみん文化祭ひろしまで最優秀賞)②みだれ咲き 6歳、19歳、21歳の4名にてお届け。若さあふれる舞台に注目。③白雲の城 昨年より会の発展に力を入れる21歳坪井鴻優が感情のこもった1人舞で舞台を締めます。

鳥取県

高城牛追掛節保存会

【演目】

高城牛追掛節



牛追掛節の起源は、大阪城築城に際し全国から多くの工夫(労働者)が集められ、材木や巨石を運搬する手段として牛や馬にひかせて運んだ時代だと言われています。毎日力のある作業が続き、疲れ果てた様子を博労頭を務めていた鳥取藩の「孫四郎」という人が労いの歌を唄ったことで牛や馬、人夫が勇気をもらい仕事がかどったという言い伝えがあります。やがて全国から集められていた人夫や博労たちがそれぞれの藩に帰り、牛追掛節を唄ったことで全国に広まりました。現在では、文化・伝統芸能として若い人にも唄い継がれています。

島根県

深野神楽保存会

【演目】

八戸(やと)



深野神楽沿革の詳細は不明ですが、弘化3年の神能記が残されている事から見ても、かなり古い時代から盛んに舞われていたと考えられます。次第に後継者に欠け、大正前期に一度途絶えますが、70年後再び神楽復活の気運が盛り上がり、昭和61年8月に新しい深野神楽保存会を結成しました。これまで国内では大阪や広島での複数回の公演のほか、アメリカやタイでの国外公演も経験しました。そのほか、ジャズやアコーディオン、和太鼓、能楽師など様々なジャンルとコラボレーションも経験しました。現在会員は26人で若手メンバーも多く、伝統芸能の保存と継承に取り組んでいます。

愛媛県

虎造節保存会

【演目】

石松の金毘羅代参



浪曲は浪花節とも呼ばれ、三味線に合わせて物語を語ります。およそ150年の歴史がある中で、昭和に活躍した二代目広沢虎造の芸は「虎造節(とらぞうぶし)」と呼ばれ、話芸の最高峰と評価されています。後継者がいないことから、元NHKアナウンサーの八木健が、平成21年に虎造節保存会を愛媛に創設し、東京・浅草の木馬亭や愛媛県内において、全国大会や名演会、発表会などを定期開催しています。「石松の金毘羅代参」は、石松が親分の次郎長の代わりに金毘羅様に刀を納めに行くお話です。

高知県

四ツ白武士踊り(太刀踊り)会

【演目】

- ① 忠臣蔵
- ② しのぎ
- ③ 鎌倉



四ツ白部落氏神様仁井田神社の秋祭に奉納されている太刀踊です。この「太刀踊」は、平家一族が屋島を逃れて越知町横倉山に入り、安徳天皇を慰めるために踊ったことに始まると云われ、平家伝説に符合し伝承されています。太鼓に結ぶ紅白の鉢巻は、この名残によるものと云われています。今回は、武士同士の戦いをイメージした「忠臣蔵」、紙手が華やかな「しのぎ」、刀同士の踊りが見所の「鎌倉」の3つをご披露させていただきます。

香川県

安田おどり保存会

【演目】

安田おどり



安田おどりは小豆島の安田地区で古くから伝わっているもので、昭和48年には香川県無形民俗文化財に指定されています。優美な女踊りと素朴な男踊りのコントラストが魅力の盆踊りです。活動は、昭和37年に保存会が結成されて以来、8月14日に先祖供養のための盆おどり大会を中心に、国民文化祭、全国青年大会(3度出場、平成6年には郷土芸能の部最優秀賞を受賞)、祭礼での披露、姉妹都市などでのイベント参加など精力的に行っています。

徳島県

高原藍玉獅子保存会

【演目】

五社神社奉納獅子舞



高原藍玉獅子舞は、徳島県石井町高原にある五社神社の奉納獅子舞です。五社神社は、日本遺産「阿波藍」の歴史の中で大変譚わのある神社で江戸時代中期、藍農作民を救うために犠牲となった、現存した5人を藍の守り神としてお祀りしています。平成12年に高原小学校が獅子舞を復活させ、現在も伝統として受け継いでいます。平成28年に高原小学校卒業生を中心に高原藍玉獅子保存会を立ち上げ、途切れることなく継続したいと取り組んでいます。

岡山県

備中神楽倉敷社

【演目】

大蛇退治



○団体概要
備中神楽は、岡山県備中地方に古くから伝わる伝統芸能です。倉敷社中は昭和53年に発足しました。岡山県の神楽社中の中では比較的若い社中になります。令和になり、社中の高齢化が進み若手世代に世代交代しました。年齢層は4才から70代まで。現在、10名のメンバーで活動しています。
○主な活動歴
倉敷市、岡山市の夏祭り秋祭り、老人ホーム、新年会、日本遺産祭り(倉敷)、かわのわマーケット等
○[演目]大蛇退治
悪行を働いた為に高天原を追いやられた素戔鳴の尊でしたが、出雲の国で奇稲田姫を救う為、八岐大蛇を退治します。本来の神楽では約2時間の演目ですが、時間の都合で最後の大蛇退治の場面上演させて頂きます。